



沼澤道也 議員

年平均26haの農地流動

沼澤道也議員 人口減少をテーマとする質問の第3弾は、農地管理と担い手育成にした。各集落で農業をやめる農家が増えているが、過去5年間の農地や農家の動きを報告願いたい。

佐藤産業課長 農地の流動化や農家数の変化は下表のようになっていく。流動化面積は5年平均で26・3haと大きな面積となっている。農家数も毎年10数件と大きな変化は現状では見られない。

5年間の農地流動化と農家構造の変化

| 年度  | 権利移動面積 (ha) | 担い手への集積率 (%) | 農家数 (件)     | 認定農家数 (経営体)   |
|-----|-------------|--------------|-------------|---------------|
| H25 | 30.3        | 47.3         | 611         | 96            |
| H26 | 23.7        | 51.4         | 586         | 113           |
| H27 | 27.9        | 65.1         | 578         | 122           |
| H28 | 21.0        | 63.0         | 561         | 125           |
| H29 | 28.8        | 64.3         | 551         | 133           |
| 計   | 131.7       | ※H25年度比17%増  | ※H25年度比62件減 | ※H25年度比37経営体増 |

# 今後の農地管理と担い手育成は

## 回答 地域農業推進協議会で情報共有を

人・農地プランの見直しと体制整備は 沼澤議員 人・農地プランをもとに流動化を進めていると思うが、今後の進め方をどうするか。また、今後の担い手づくのため体制の見直し等は考えているか。



豊かな実りを収穫

## 岸宏一氏の銅像建立への対応は

沼澤議員 町民の一部に岸宏一氏の銅像建立の声があるが、町長の考えは。 町長 町民からそうした要望があることは理解している。生前私に対し、「鈴木くん、名誉町民なんてしないでくれよ。」と固く言われていた。 私はその気持ちを大事にしていきたいと思っており、銅像という方法ではなく、小学校で使う副読本への掲載などで、先生の存在を知らせていくのが良いのではないかと考えている。

# 「金山道路」開通後の町の姿は

## 回答 「町総合戦略とCCRC構想」を展開



須藤典夫 議員

川崎総合政策課長 新たな道路整備は「ストック効果」があり、安全・安心効果（耐震性、災害リスク低減）、生活の質の向上効果、生活環境の改善、アメニティの向上、生産性向上効果（移動時間短縮

「ストロー現象」の打開策はあるのか

須藤典夫議員 念願の「金山道路」が事業化されたことは喜ばしいが、現在の13号線の車両量が少なくなることは想像できる。 良いこと、心配なこととは他の市町村の事例を紹介して頂き、その心配なことへの対策はあるのか。

輸送費の低下、貨物取扱量の増加）など、中期にわたり得られる。 一方、道路整備により懸念されることは、これまで地域の拠点となっていた小都市が経路上の大都市の経済圏に取り込まれ、人・物・お金などが、より求心力のある大都市に吸い取られる恐れがあり、「ストロー現象」と言われている。

町長 全国で896の自治体が20歳から39歳の女性の減少割合が50%を超え、それがいわゆる「消滅可能性都市」という定義づけでもある。 その中に入った自治体がその後、早速対策を打ったことで効果が出て、若い方々が最も住みたい町だと挙げてくれたという自治体の例がある。 いろんな策を考えながらいかないと金山に住んでいただく方は減っていく。 そのためにも、「ま

ち・ひと・しごと総合戦略とCCRCの構想」が、来年度から重なる形になるので、それぞれの分野でできることは、効果が出るようにやっていくが、行政だけでは出来ないこと。 農協のスタンドの問題などもありますが、官民、関係機関と力を合わせて行かなければ成しえないと思う。

## 活況に向け商店への支援策の拡充を

須藤議員 「まちの駅」建設構想が断念されたことで、町の賑わいは商店経営者に期待するところが大きい。 元気を出していただくために次の支援策を考えてはどうか。 ①プレミアム商品券の発行回数増 ②看板や店内の改修、設備更新の補助事業 ③がみ北部商工会金山支部に「相談役」の人材配置 佐藤産業課長 町内商



活況！金山まつり

店に元気を出してもらおうことは、町経済活性化のため重要である。 提案項目は、がみ北部商工会金山事務所とも相談したい。 町長 プレミアム商品券について、ここまでは手厚くやっているのは金山町だけである。 町の財源をこれにもつと振り分けなければならぬとすれば、他の物を削らなければならなくなる。 回数を増やし、金額を増やせば効果があるかもしれないが、淘汰されてしまう物も出てくるということを併せて考えていただきたい。 実際、換金手数料も町が支援しているが、いろいろな面で商工会は商工業を営んでいる方々のための会なので、一層の自助努力も期待したい。